

しん☆ちび子育てエッセイ



孤独に感じていた日々に 明るい変化

梶原 杏奈さん（中央市）
二児のママ



仕事をしてきた頃の私には毎日やるべき事や、ある程度の一日のルーティンが決まっている生活を送っていました。

子どもを授かり、無事に出産できて幸せいっぱい的生活を送っていました。毎日毎日、子どもと二人だけの長い時間となる。日々が経つごとに、『我が子はとっても可愛いけど、普通に会話のできる人と話したいな：』だとか、『仕事をするって大変なことだけど、改めて家族以外の人と何気ない話で大笑いしたり、一緒に頑張った後や、忙しさを乗り越えた後の達成感を共有できて楽しかったな：』と思ったり。

仲の良い友人に会えて時間は時が一瞬かと思っただけ早く過ぎ、家へ帰ればまた孤独：『パパ、早く帰ってこないかな：』今日あったこと話したいんだけどな。』そんな毎日。

娘を出産した後、市役所で頂いた書類の中に支援センターのパンフレットが入っていました。見ると数ヶ月前に出来たばかり！と知り、行ってみたいなと思いつつも、初めて行くところは不安です。

とりあえず電話で問い合わせると、先生がとても明るく感じ良く対応してくださって「いつでもお待ちしております！」とのこと。

ドキドキしながら勇気を出して足を運ぶと、平日だったこともあり娘と同じくらいの子とママさんが沢山いらっしやってホッとしたのを今でも覚えています。

その後はセンターで開催されるイベント等、色々と参加を重ねる度にお話しさせていただくママさんも増え、支援センターに行くのが楽しみになっていきました。

なんというか、育児に行き詰まったり、今日は何して遊ぼう：と迷ったら、とりあえずここに来れば大丈夫！のような安心できる場所だと思えたのは、毎回来るたびに温かく迎えてくださる先生方の環境作りのおかげかな、と思っています。

たとえその日にセンターに知り合いのママさんがいなかったとしても、必ず先生達は居てくれるし、何よりこのセンターの良さは、「さあ、どうぞ遊んでいってください！」だけではなく、実際に先生方が話しかけてくださった時に気軽に相談出来たり、笑い話をしたり、一緒に子どもと遊んでくれたり、そこが一番のセンターの好きなのところですよ！！

これからも、子育て支援センター「しん☆ちび」というこの場所を、沢山のママやパパ、そのご家族、多くの人の安心して子どもを連れてこられる、そんな居場所であり続けてもらいたいなと思っています。

ここ《しん☆ちび》が大好きです！

